

魅力ある快適空間

アーバンスクエアを創るアリサカ


 会社説明会資料

16年(2004年)3月



株式会社アリサカ

<http://www.arisaka.net/home.html>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しの上に全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。


 コンテンツ

 独立系アミューズメント施設の運営会社として  
九州から西日本、そして全国へ

コンテンツ	P2
会社概要	
会社概要	P4
事業の沿革	P5
事業内容	
事業別店舗数推移と見込み	P7
当期(平成16年3月迄)のハイライト	P8
年度別ゲーム市場の規模と店舗数	P9
業界順位(アミューズメント施設)	P10
店舗の状況(平成16年3月31日現在)	P11
的確な資本政策の実行	P12
業績推移	P13
ジョイプラザ新宿店・アーバンスクエア草津駅前店	P14
H17/3期 業績予想	P15

## 決算概要

貸借対照表	P17
損益計算書	P18
有利子負債の推移見込み	P19
事業別売上高予実比較	P20
キャッシュフロー計算書	P21
整備投資、減価償却費の推移	P22



## 会社概要

---



## 会社概要

---

会社名 株式会社アリサカ  
代表取締役 有坂 順三  
設立 昭和51年10月9日  
資本金 635,150千円  
発行済株式数 2,615,000株  
所在地 本社 宮崎市本郷北方2485-20  
従業員 社員 84名 パート・アルバイト 466名  
(平成16年3月31日現在)  
平成14年10月 ジャスダック上場

### 事業内容

- ゲーム施設の運営及びゲーム施設を主軸に、ボウリング、スーパー銭湯、カラオケ、バッティング等の各施設と他社テナントを含めた**複合アミューズメント施設**の運営



## 事業の沿革

---

- 昭和 53 年 ゲーム機械のレンタル業を開始
- 昭和 63 年 福岡市にゲーム・カラオケ店の直営1号店開設  
以後、ゲーム店舗を増設
- 平成 4 年 バッティングセンターを事業に加える
- 平成 6 年 ボウリングセンターを事業に加える
- 平成 10 年 スーパー銭湯を事業に加える

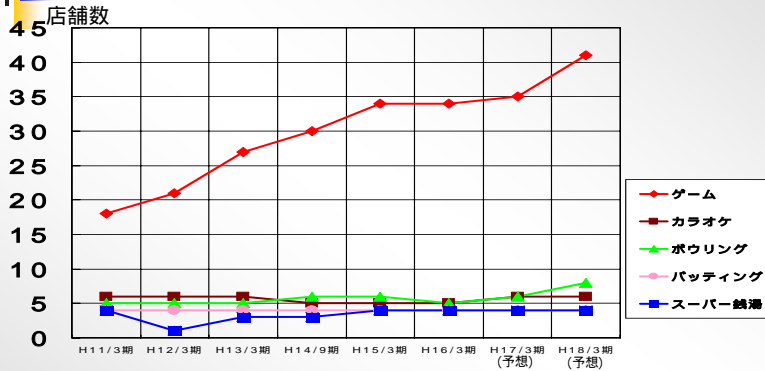
**あくまでゲーム事業が主力、他の事業部門はゲーム事業の集客目的として位置づけ**



## 事業内容

---

# 事業別店舗数推移と見込み

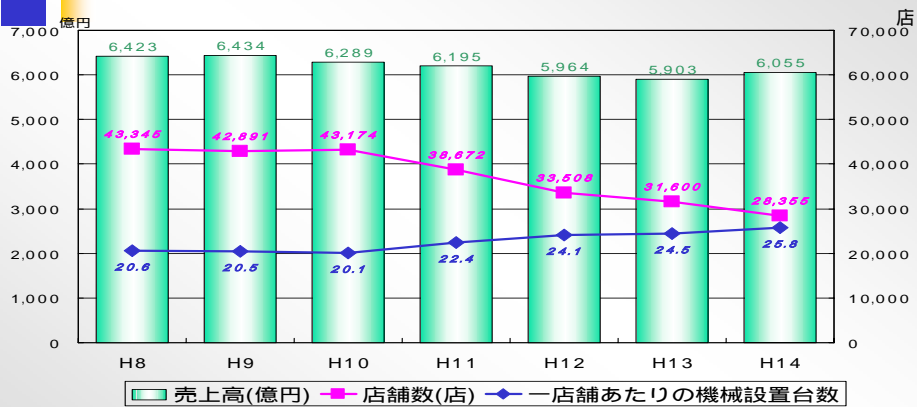


- 出店方針：大型ゲーム単独店が中心  
スクラップ&ビルドによる事業の効率化
  - 年間5～6店舗程度の新店を計画
  - 小型店等の不効率店の閉鎖を実施
- 平成17年3月期以降は大型複合施設の出店も視野に入れる

# 当期（H16年3月期）のハイライト

- 出店
  - H15年7月 ダイエーハーバーランド店(兵庫県神戸市)
  - H15年7月 アーバンスクエア都城北店(宮崎県都城市)
  - H15年8月 アーバンスクエア中央通店(宮崎県宮崎市)
  - H15年12月 アーバンスクエア横浜中華街店(横浜市・共同店舗)
  - H16年2月 アーバンスクエア大須店(名古屋市・共同店舗)
  - H16年2月 アーバンスクエア心齋橋店(大阪市・共同店舗)
  - 共同店舗・・・共同事業者との歩率契約による店舗
- 退店
  - 若松アーバンボウル(福岡県北九州市)
  - プリクラ専門店(3店)(宮崎県2、福岡県1)
  - アーバンスクエア本郷店 ゲーム部門(宮崎県宮崎市)
  - アーバンスクエア福山店(広島県福山市)
- H15年12月 アーバンスクエア天文館店(鹿児島県鹿児島市)  
リニューアルOPEN
- がらっば湯本郷店(2F本社営業部) 土地建物購入
- 配当予想の修正(中間配当10円・15円)
- 私券債発行(3億円、今後の事業資金及び割賦債務の返済)
- アーバンスクエア佐世保店(ゲーム事業)で代金後払型清算方式(ICカード)を導入
- 株式分割(1:1.2)及び株主優待実施を発表
- 公募増資(30万株)を実施

# 年度別ゲーム市場の規模と店舗数



- 店舗数は平成8年度の4万3,345店から平成14年度には2万8,355店に大幅減少
  - 1店舗で100台を超える大型店舗が増加し、店舗の大型化傾向に拍車
  - スクラップアンドビルドが加速
  - 企業間格差がますます広がる傾向
- 淘汰が進み企業数、店舗数ともに減少が予想

資料出典 アミューズメント産業界の実態調査報告書から(毎年9月下旬に発行)

# 業界順位 (アミューズメント施設)

(単位:百万円)

順位	会社名	売上高	決算期	市場占有率
1	(株)セガ	69,330	H15/3	11.4%
2	(株)ナムコ	55,070	H15/3	9.1%
3	(株)タイトー	42,366	H15/3	7.0%
4	(株)イオン・ファンタジー	20,135	H15/3	3.3%
5	(株)アドアーズ(旧シグマ)	16,855	H15/3	2.8%
6	(株)ファンフィールド (旧ダイエーレジャーランド)	15,892	H15/3	2.6%
7	マイカルクワイエット	9,430	H15/3	1.6%
8	(株)ワイドレジャー	8,278	H15/3	1.4%
9	(株)アトラス	5,585	H15/3	0.9%
10	(株)プレビ	5,133	H15/7	0.8%
上位10社の合計		248,074		41.0%
15	(株)アリサカ	3,594	H15/3	0.6%

上位10社の内、5社はゲーム機器メーカー  
3社は大手流通系の会社

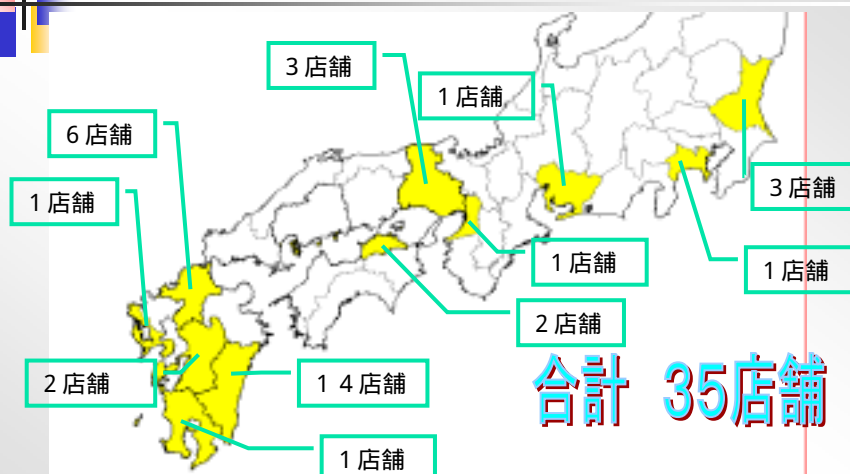
(注)1. 上記売上高は、サービス業総合調査のアミューズメント施設のみの売上高であります。

2. 資料………(平成15年11月6日付 日経流通新聞記載)。

3. 市場占有率…アミューズメント施設の市場売上高に対して算出しております。

(平成15年3月期605,521百万円…資料アミューズメント産業界の実態調査報告書)

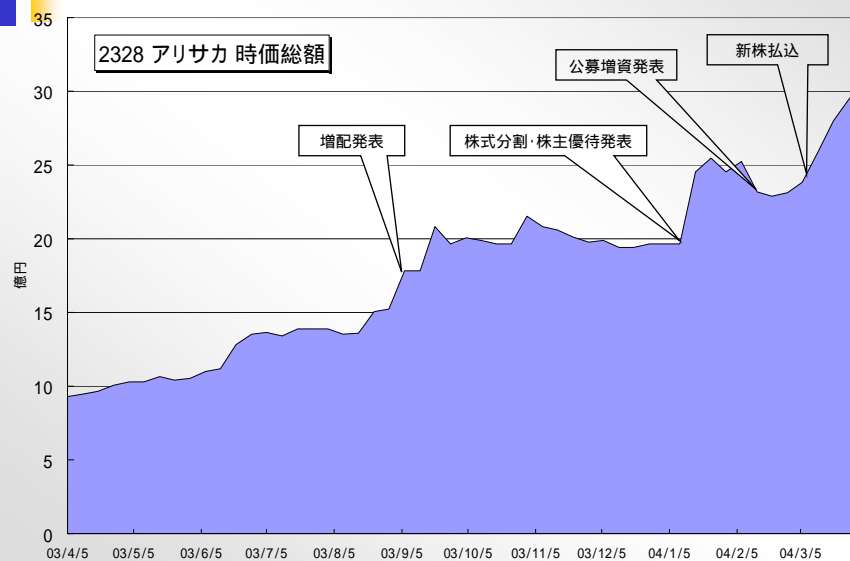
# 店舗の状況 (平成16年3月31日現在)



九州地区 複合店 1 1店、単独店 1 3店

九州外地区 複合店 1 1店、単独店 7店、共同単独店 3店

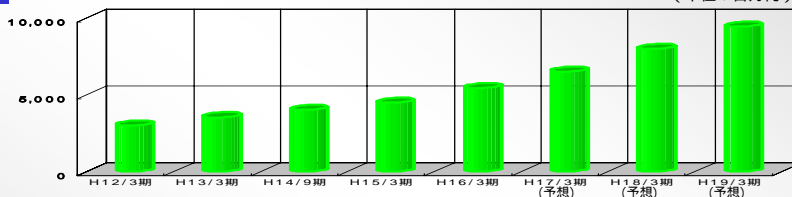
# 的確な資本政策の実行



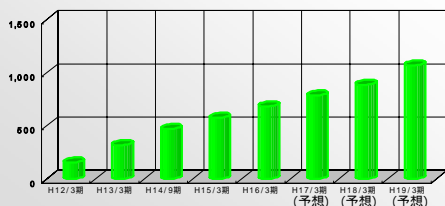
## 業績推移

## 売上高

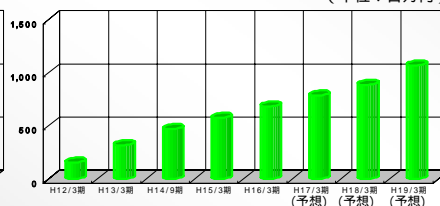
(単位：百万円)



## 営業利益 (単位：百万円)



## 経常利益 (単位：百万円)

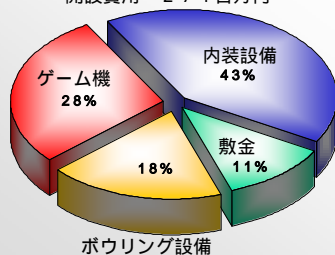
ジョイプラザ新宮店  
アーバンスクエア草津駅前店

## ジョイプラザ新宮店

- 場所 福岡県糟屋郡新宮町
- 出店日 平成16年4月28日
- ゲーム機設置台数 約220台
- ボウリング 18レーン
- カラオケ 7室
- 床面積 約1,250坪
- 営業時間 24時間営業

ゲーム、ボウリング、カラオケ、インターネットカフェ・スポーツ施設の複合店

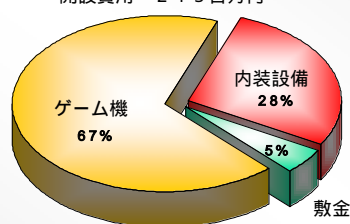
開設費用 271百万円



## アーバンスクエア草津駅前店

- 場所 滋賀県草津市
  - 出店日 平成16年4月28日
  - ゲーム機設置台数 約250台
  - 床面積 約630坪
- ゲーム単独店

開設費用 215百万円



# H17/3期 業績予想

	H16/3期	H17/3期 中間期予想	前中間期比	H17/3期 予想	前期比
売上高	5,451百万円	3,094百万円	22.9%	6,525百万円	19.7%
営業利益	686百万円	332百万円	12.1%	788百万円	14.9%
経常利益	492百万円	218百万円	14.3%	553百万円	12.4%
当期純利益	214百万円	81百万円	4.4%	252百万円	17.8%
E P S	91.75円	27.23円	-6.5%	82.23円	-10.4%
R O E	12.2%	4.5%	-0.9%	12.3%	0.8%
R O A	2.2%	0.8%	-0.0%	2.5%	13.6%
自己資本比率	19.4%	20.7%	4.1%	21.4%	10.3%
年間配当	25.00円	(中間)12.50円	-2.50	25.00円	-
配当性向	27.2%	-	-	30.4%	11.8%

< 計画策定の前提条件 >

当期開設店の売上見込み + 831百万円

前年開設店の通年効果 + 747百万円

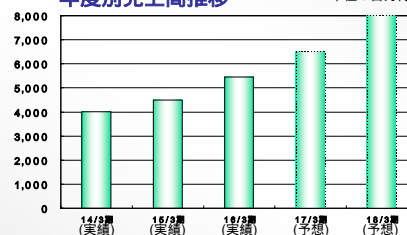
閉鎖店舗の売上減少 242百万円

既存店売上高の前期比計画 94.7%

( H16/3期実績99.3% )

年度別売上高推移

単位：百万円



# 決算概要

# 貸借対照表

(単位：千円、%)

	前期末 H 15/3月 期	当期末 H 16/3月 期	増減額	前期比		前期末 H 15/3月 期	当期末 H 16/3月 期	増減額	前期比
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産	876,203	952,104	75,900	108.7	流動負債	2,100,313	2,965,756	865,443	141.21
固定資産	8,261,621	9,125,116	863,494	110.5	固定負債	5,503,943	5,170,532	-333,410	93.94
有形固定資産	7,407,477	8,250,016	842,538	111.4	負債合計	7,604,256	8,136,289	532,032	107.00
無形固定資産	138,405	110,993	-27,412	80.2	<b>資本の部</b>				
投資その他の資産	715,738	764,106	48,367	106.8	資本金	502,250	635,150	132,900	126.46
繰延資産	5,793	13,600	7,806	234.8	資本剰余金	500,310	632,910	132,600	126.50
					利益剰余金	534,931	679,506	144,574	127.03
					その他有価証券 評価差額金	2,105	7,199	5,094	342.00
					自己株式	-235	-235	-	-
					資本合計	1,539,361	1,954,531	415,169	126.97
資産合計	9,143,618	10,090,820	947,202	110.4	負債・資本合計	9,143,618	10,090,820	947,202	110.36
					1株当たり純資産額	665.09	747.57	82.48	112.40

棚卸資産の増加 62百万円 有価証券の減少 30百万円  
前払費用の増加 39百万円

出店及び既存店のリニューアルその他による設備の増加 1,502百万円  
減価償却費及び除却等 660百万円

M & Aによる営業権の償却額 27百万円

差入保証金の増加 126百万円  
長期前払費用の減少 52百万円  
閉鎖店舗の敷金の減少 39百万円

1年以内の長期借入金の増加 78百万円  
短期借入金の増加 735百万円  
1年以内償却予定の社債の増加 60百万円  
1年以内の設備手形の減少 147百万円  
未払法人税等の増加 53百万円

長期借入金の増加 74百万円 社債の増加 210百万円  
設備購入手形・長期未払金の減少 602百万円

公募増資による増加 265百万円  
未処分利益剰余金の増加 144百万円

# 損益計算書

(単位：千円、%)

	前 期 末 H 1 5 / 3 期	当 期 末 H 1 6 / 3 期	前期比 (%)	H 1 6 / 3 期 計	H 1 6 / 3 期 画 計	H 1 7 / 3 期 画 比 予 想
売上高	4,495,431	5,451,060	121.3	5,410,000	100.8	6,525,000
売上原価	3,497,265	4,316,962	123.4	4,236,400	101.9	5,200,100
売上総利益	998,166	1,134,098	113.6	1,173,600	96.6	1,324,900
販売費及び 一般管理費	421,400	447,530	106.2	473,600	94.5	536,200
営業利益	576,766	686,568	119.0	700,000	98.1	788,700
営業外収益	117,262	97,933	83.5	95,200	102.9	103,300
営業外費用	292,999	291,871	99.6	295,200	98.9	338,700
経常利益	401,029	492,630	122.8	500,000	98.5	553,300
当期純利益	169,556	214,009	126.2	233,753	91.6	252,100

売上原価の内訳  
仕入原価 449百万円  
店舗原価 3,840百万円  
機器除売却原価 61百万円

販売費及び一般管理費の増加 26百万円  
人件費の増加 23百万円  
その他、管理諸費、旅費交通費等の増加 11百万円  
租税公課の減少 16百万円

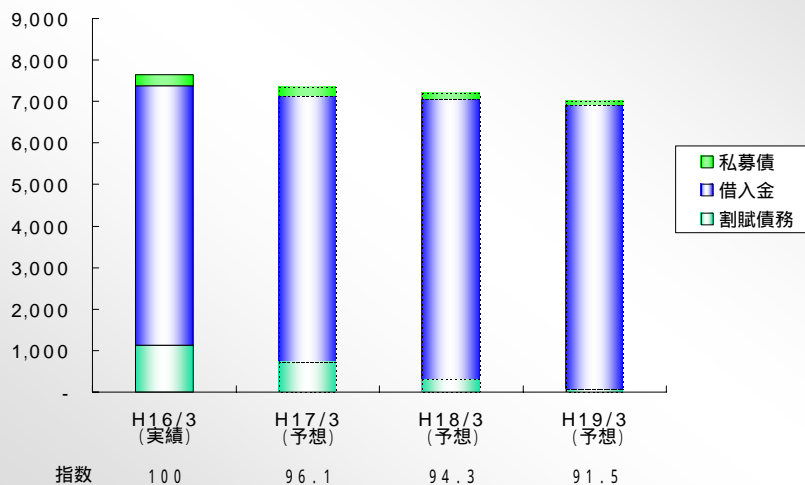
営業外費用  
支払利息の増加 58百万円  
その他営業外費用(公同費用等)の減少 62百万円

当期純利益  
不効率店舗の閉鎖及び鹿児島県鹿児島市の天文館店の建物建替えに伴う既存設備の除却損等  
リース会社債務の割賦契約解約損

82百万円  
23百万円

# 有利子負債の推移見込み

単位：百万円



# 事業別売上高予実比較

平成16年3月期 売上高比較

(単位:百万、%)

事業別	前期実績	当期実績	実績比	計画	計画比	既存店計画	既存店実績	既存店計画比
ゲーム事業	3,594	4,534	126.1	4,588	98.8	2,485	2,561	103.0
ホウリング事業	371	352	94.8	316	111.4	316	352	111.4
スパ-銭湯事業	258	273	105.8	249	109.7	175	197	112.1
ほか事業	114	96	84.0	101	95.2	101	96	95.2
パティンゴ事業	41	40	97.9	38	104.8	38	40	104.8
その他の事業	113	153	134.5	115	132.2	87	123	140.3
合計	4,495	5,451	121.3	5,410	100.8	3,205	3,371	105.2

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成16年3月期 既存店月次売上高の前年比較

単位：%

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
ゲーム事業	100	103	98	94	102	96	95	98	106	109	91	91	98
ホウリング事業	108	99	126	106	98	98	106	116	103	101	100	93	103
スパ-銭湯事業	87	81	89	97	122	127	120	114	115	116	120	112	109
ほか事業	88	94	98	92	89	88	89	102	101	95	93	78	90
パティンゴ事業	79	95	114	116	108	85	87	109	95	109	100	86	97
その他の事業	78	81	71	127	75	282	63	109	292	58	71	145	131
合計	98	100	99	96	102	102	95	101	113	107	93	94	100

# キャッシュフロー計算書

単位：百万	前期	当期
	H15年3月31日現在	H16年3月31日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	852	989
投資活動によるキャッシュ・フロー	475	1,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	276	474
現金及び現金同等物の増加額	100	27
現金及び現金同等物の期首残高	340	441
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	441	414

非資金費用

税引前当期純利益の増加	75百万円	法人税等の支払額の増加	+54百万円
店舗閉鎖等による有形固定資産除却損等の増加	39百万円	たな卸資産の増加による資金使用	+62百万円
減価償却費の減少	93百万円		

新規出店・既存店舗の改築・既存店の土地・建物取得等に伴う有形固定資産の資金使用	1,381百万円
敷金・差入保証金等の支出の増加	93百万円

株式発行による収入の増加	259百万円
社債発行による収入の増加	259百万円
設備資金のつなぎ資金としての短期借入金の増加	735百万円
長期借入金の増加	152百万円
設備等の翻賦債務の減少	863百万円
配当金の支払	68百万円

# 設備投資、減価償却費の推移

